

★被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】は注文番号473にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
★関東子ども健康調査支援基金【寄付】 注文番号:472 1口1000円～ にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
★東海第二原発差止訴訟基金【寄付】 注文番号:471 1口500円にて毎週受け付けています。ご協力をお願い致します。
★JOSO脱プラ基金は注文番号:474 1口500円にて毎週受け付けています。ご協力をお願い致します。

COOP-JOSO News Letter

2021年6月3回号 発行:常総生協広報G



2021年度活動テーマ(案)「笑顔で育む免疫力」

第48回通常総代会議案書完成

○総代会議案書とは

春の討議資料アンケートを経て、2020年度の活動・事業の振り返りと、2021年度の常総生協としての活動・事業方針の説明をまとめた冊子になります。1年間、常総生協の指針となるものです。

この議案書を基に、総代会に議題に出す案件が書かれており、総代会にて組合員の代表である総代さんから議案について採決をしていただきます。

※総代さんでなくてもご希望があれば総代会議案書をお渡ししています。ぜひ供給担当まで申し出ください。

○総代会の日程

日程: 2021年6月12日(土) 10:00~12:00

場所: 常総生協本部 組合員活動室(守谷市本町281)

○総代会の運営について

NewsLetter2021053でもお伝えした通り、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策のため、書面出席を中心に呼びかけを行っております。※生協法ではオンライン議決が未だ認められておりません。

総代会当日、会場では少人数で総代会を開催し、議案提案と採決を行います。総代会の様子をオンライン(ZOOM)で配信しますので、傍聴に是非ご参加下さい。なお会場での参加、ZOOMにおいての発言は出来ませんので、ご理解いただけます様、お願い申し上げます。

■注意事項

1. ZOOM参加には人数制限があります。**96名まで**となります。
2. 総代を優先とし、組合員の応募が多数の場合、抽選となります。予めご了承ください。
3. 迷惑メール対策やドメイン指定受信等を設定している方は、確認メールが受信されますよう、**【@google.com】の登録をお願い致します。**ドメイン登録の設定をされていない場合、確認メールが届かないことがあります。
4. 参加可能者にはメールにてZOOMのURLを配信いたします。予めZOOMの利用の仕方を練習していただくと助かります。※残念ながら抽選で外れてしまった方には別途お知らせいたします。
5. 当日は終始ミュート設定になっております。(ご自身でのミュート解除、及び発言は出来ません)
6. 総代会の様子を閲覧するための配信であることを、予めご理解いただき、ご協力の程、よろ



しくお願い申し上げます。

7. 当日の録画、画像のキャプチャーを撮ってSNSやインターネットなどへの無断掲載はおやめください。

■申込方法

ご希望の方は右記のQRコードもしくは下記のURLより申し出てください。

▽申込フォーム（締め切り：6/8（火）まで。抽選になった場合は開催の6/10（木）までにご連絡いたします。）

<https://forms.gle/fyEmNJALXfg8xjMCA>

第48回通常総代会オンライン傍聴参加希望



2021/5/22（土）開催 ～みんなに関心を持とう～ミャンマーの歴史と今を知る学習会（於・常総生協組合員活動室/オンライン学習会）開催報告とご提案



画像出所：現地紙Myanmar now

報道でもご存知の通り、ミャンマーの国軍によるクーデターが勃発してから4カ月になろうとしています。この間、騒乱の犠牲者はデモに参加した若者を中心に、小さな子供も含めて800人を超えています。今回の事件に心をいため、また、今回の騒乱以前から草の根的にミャンマーの現地の人たちと交流してきた組合員の荒木さんご夫妻（柏市在住）から、「安全な食はもとより、平和を大切に思う常総生協組合員のみなさんと一緒にこの問題を考えることができれば」とご提案いただき、学習会の開催に至りました。当日は、役員と生産者、組合員のお友達を含め総勢27名の方が参加しました。

学習会の内容

- 1) ミャンマーを理解するための基礎知識
- 2) 今回の一連の動きをレビュー
- 3) 日本との関係
- 4) これからの見通し
- 5) 支援活動のご提案

講師

- 荒木義宏さん：元ジェトロ（日本貿易振興機構）ヤンゴン事務所長
- 荒木かほるさん：MAAM s ミャンマークラフト代表

1) ミャンマーを理解するための基礎知識

学習会の前半は、荒木義宏さんからミャンマーの基礎知識についてお話がありました。

●占領され続けた歴史と軍政による支配

【ミャンマーの歴史（概略）】

●1800年代半ばまで

約350年続いた王朝だった。その後イギリスに100年統治された（途中、日本の統治）後、1948年に独立。

●1948年～1962年

・独立後、少数民族の独立闘争や共産党の反乱、さらに北方からの中華民国軍の侵入があり一時は国家崩壊の危機に陥ったが、国軍の反攻によって国家の自治を保てた（＝現在も続く「**国軍の自負**」）。

・少数民族、共産党と国軍の内戦激化。政党政治が混乱し、**1962年に第1回目の軍事クーデター**。ビルマ式社会主義独裁の時代に。この頃から日本の経済援助開始（約20年続く）。

●1988年

・全国規模の反政府学生運動が激化し、**2回目の軍事クーデター**。国軍により民主化運動は圧殺。

・**国民民主連盟（NLD）結成**。母親の看病のためにイギリスから帰国したアウンサンスーチー氏が書記長に。

●1990年：総選挙でNLD圧勝。しかし、国軍は選挙結果を無視し、**スーチー氏を自宅軟禁**（～2010年まで10年間）。

●2008年：憲法制定。

※ただし、国軍の権利が大きく認められている憲法。

●2015年、NLDが総選挙で勝利

●2016年、NLDが民主化政権樹立。1962年から約50年以上続いた軍政から明確な文民統治へ。

●2020年、総選挙でNLD圧勝。

●2021年2月1日、国軍司令官による3回目の軍事クーデター。

・・・国際社会の支援も受けながら少しずつ進めてきた文民統治が2016年に実現してたった5年。今回のクーデターで30年前に戻ってしまった！

●135の民族が同居する超・多民族国家ミャンマー

・ミャンマーは135の民族が存在。主要な民族は武装化し、1962年の独立以来、自治権を要求し中央政府（ビルマ族）と対峙してきた。
・軍政時代に大部分と停戦協定を結んだが（国境付近での少数民族の交易の利権獲得が主な目的）、今回のクーデターで失効。

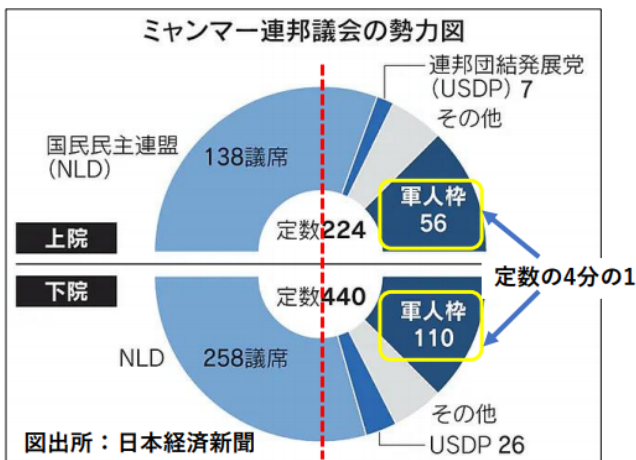
・・・武装した少数民族と連携して「連邦軍」を設立し、国軍に対峙すべきと主張するミャンマー市民もいるようだが、これではますます混乱が長期化してしまう！

2) 今回の一連の動きをレビュー

●2020年11月の総選挙と国軍が実権を握れるように作られた憲法

・2008年に制定された憲法は国軍が作った草案が基本。その主な内容は・・・

- ①国軍の国政参加が可能（軍人枠は定数の4分の1）
- ②緊急事態宣言発令時は国軍司令官への全権付与（クーデターを起こせる）
- ③憲法改正には上下両院の4分の3以上の賛成票が必要。



・・・国軍中心の国政を解消したいのがNLD。しかし、軍人枠が4分の1であるかぎり憲法改正は困難！

・・・2020年の総選挙でNLDが圧勝した。しかし「国軍の自負」もあり、危機感を持った国軍がクーデターを起こした。

●ミャンマーをとりまく複雑な国際情勢

・クーデター後の各国の対応はほぼ機能していない。そんな中でも一番機能しているのがASEAN（東南アジア諸国連合）。
・ただし、ASEAN内でも内政不干渉を重視（国軍の意思を尊重）する国と、国軍と距離を置きASEAN域内解決を目指す国とで分かれている。

・・・国軍はASEANで採択された特使の受け入れを！とにかく全当事者が平和に向けて早期に対話することが必要！

3) 日本との関係

●ミャンマーと日本は「特別な関係」

・戦前：国軍の創設を全面支援し、イギリスからの独立を支援した。
・戦中：ビルマ占領。インパール作戦で日本軍大敗。引き上げ時にビルマの人々が手厚く扱ったという逸話も。
・戦後：戦後賠償、官民一体となった経済支援を実施。

・・・日本企業にとって東南アジア最後の有望市場。多くの日系企業が進出。

・・・しかし、クーデター後の市民によるCDM（不服従運動）のために、「働くことは国軍を利することになる」ため、働き手は戻っていない。しかもコロナが追い打ち！早く平和を取り戻し、働ける環境に戻すことが大事！

4) これからのミャンマー

●暴力を停止し、対話を！

・クーデターによる混乱の長期化がもたらす影響は

- ①経済活動が停滞：失業者の急増、貧困層の一層の窮乏、地方の疲弊 ⇒海外への難民・不法移民の増加！
- ②分断・社会の沈滞：情報統制、規制の強化、相互不信感の蔓延 ⇒治安の極度の悪化！
- ③国際社会からの孤立：外国投資の減少、ミャンマーイメージの失墜、観光客の減少 ⇒せっかく有望な輸出産業が育ってきたのに、また内向きの姿勢に逆戻り！

・・・何よりも、子供たちの教育が7か月も行われていないのが問題。このままでは、銃を持って戦う若者が増えてしまう！

・・・今一番望まれるのは、暴力を停止し、対話を始めること！

5) 私たちはミャンマーの人たちになにができるのか

【提案1】
折り鶴を現地に送りませんか？

・学習会の後半は、現地の仲間の状況も交えて、荒木かほるさんからの話を伺いました。

・会場から、カンパの提案もありましたが、「**現在、お金（カンパ）も支援物資も現地に送ることができない状況なのです**」と荒木さん。もし、お金を現地に送った場合、軍や警察当局からの調査が入る恐れがあるとのこと。また物資を送っても最終的にどこに行くのかはおそらく分からない。では、私たちは何ができそうか？

・クーデター後、荒木さん夫妻は毎日近所の寺や神社に足を運び平和を祈っているとのこと。「祈っても祈っても、何も変わらない」と現地の知人に伝えたところ「そんなことはない。祈ってくれているから家に居られる。祈ることをやめないで」と。

・何か心の支えになることはできないか。今の異常な状況が早く収束し、人々が普通の生活に戻ることを祈りながら**折り鶴**を送りませんか？という提案がありました。

※折り鶴の活動についての詳細は、右記をご覧ください。

【提案2】 映画観賞会でミャンマーをもっと知ろう！

・今回のクーデターに反対する全国的な抗議運動は、少数民族の地域でも活発に行われており内戦の危機が迫っています。「今後の展開は不透明ですが、ミャンマーを理解するうえで少数民族は避けて通れない大きな存在です」と荒木さん。

・今回荒木さんからご紹介された映画は、ミャンマーの著名な映画監督Aung Ko Latt氏が制作した映画です。半年間カヤン族の村に住み込み、地元の女性を演技指導。少数民族のアイデンティを持つことの大切さ、個々の民族の多様性を受け入れる寛容さ、人身売買の不当性を映像を通じて訴えています。

・会場からも「ぜひ見たいですね」とのご意見がありました（映画鑑賞会についてはまた改めてご提案できるように調整します）。

■参加者の感想

ミャンマーが今大変なのはわかりますが、どういう流れでこうなったのかよくわかっていなくて、ぜひ勉強したいと思い参加しました。憲法で軍のクーデターが認められているのは衝撃でした。こんなところで「日本国憲法って素晴らしい！」と再認識するとは。今できるのは祈ることだけとのこと。

もちろん私も、鶴をたくさん折って祈ります。でも、私達がこうして知り、周りにも知らせて、多くの人が知ることで良い方向に進むことに繋がらないでしょうか。家にいても、こんな風にお話を聞くことができる今の便利さを活かすべきです。

映画の上映会もぜひ開催して欲しいです。

（我孫子市・Sさん）

「Prayer changes things（祈ることは状況を変える）」

平和の祈りを込めてみんなで千羽鶴をミャンマーの人々におくりませんか？



支援物資すら現地に送ることができない状況の中でも、早く元の暮らしに戻れることを願い、みんなで折り鶴（千羽鶴）を作り、ミャンマーの人たちにおくりませんか？

「折り鶴には鎮魂や、平和を願う祈りの意味が込められています」

「この折り鶴がミャンマーの現地に届くことで、自分たちのことを心配してくれている人たちがいると勇気づけられます」と荒木さん。

実は、この折り鶴の提案を荒木さんから現地の知人に話してみたところ、「もう一度、人と人の絆を取り戻そうよと訴えかける、モラルキャンペーンですね」と、とても喜んでいただいたとのこと。

国の分断でなく対話を。今回の「みんなの折り鶴」がきっかけになればと思います。ぜひご参加ください。

■折り鶴がミャンマーにとどくまでの流れ

- ①ご自宅に折り紙がある方は、ぜひ早速折って、生協の供給時にご提出ください。
- ②折り紙が必要な方には折り紙をお届けします（生協の供給便にて）。注文書の意見欄に「**おりがみ希望**」とご記入ください。
- ③折り鶴を生協で集約し窓口の荒木さんにお届け。
- ④千羽鶴にして、荒木さんから現地ミャンマーへEMS（国際郵便）にて現地受け入れ先に、メッセージも添えて送付。

■使用折り紙のサイズや色

- ・15センチ四方の普通のサイズを基本に。それより小さくても、大きくても大丈夫です。
- ・折り紙に準じる自前の用紙でも大丈夫です。
- ・メッセージを添えていただいても大丈夫です。日本語でも外国語でも大丈夫です。
- ・鶴は膨らませないで提出ください。

■折る数

・特に決まりはありませんが、**1家族10個程度**を目安にお願いいたします。お友達や知人にもぜひ呼びかけを！

■折り鶴提出の締め切り

・**2021/6/25金の供給便まで。**

※生協本部1階にも「回収箱」をご用意しています。